

令和2年度オープンレクチャー（調査・研究成果の公開）(シ08)

目的 文化財情報資料部の研究成果の一部を外部講師を交えて広く一般に公開する。

- 成果
1. 2020（令和2）年10月30日、専門家はもとより広く一般からも聴講者を募集し、オープンレクチャー「かたちからの道、かたちへの道」を開催した。研究所内部より2名の講演を行った。それぞれの講演テーマは次の通りである。
 - ・塩谷純（文化財情報資料部長）「近代日本画の“新古典主義”—小林古径の作品を中心に—」
 - ・二神葉子（文化財情報資料部文化財情報研究室長）「タイに輸出された日本の漆工品—王室第一級寺院ワット・ラーチャプラディットの漆扉を中心に—」
 2. 外部からの聴講者は新型コロナウイルス感染症予防に鑑み、抽選制とし、34人の参加を得た。参加者からのアンケート結果では、26名の回答者のうち、「大変満足した」と「おおむね満足だった」を合わせ92.3%の回答を得ることができた。



オープンレクチャーの様子

研究組織 ○小林達朗、小野真由美、塩谷純、二神葉子、小林公治、江村知子、安永拓世、橘川英規、小山田智寛、米沢玲、中村亮介、野城今日子（以上、文化財情報資料部）